

## ・全ての勉強に無駄はありません

### 偏った勉強をしていませんか？

これは私立志望で科目数が少ない人たちに多いです。文系だから理系科目なんて関係ない、理系だから文系科目なんて関係ないと思っているならそれは間違いです。文理に共通した英語では文理なんて関係ありません。特にセンター試験では文系も理系も同じ問題ですから。長文問題のテーマでは歴史、政治、科学、文化、医療…などなど広範囲にわたります。音楽や美術、保健の教科書にあるようなテーマが出ることもあります。日本語でも読んでいて理解に苦しむような高度な文が出ることもあります。何の知識もないままでは読解に苦勞することは目に見えています。英語に十分な力があっても正確に理解することは困難です。それは英語の力とは全く別ものだからです。一生に一度しか見ないような単語に注釈すらついてないことだってあります。それは前後の文から予測可能だからです。しかし、そのテーマに関する知識がなければ予測すらできません。たとえ注釈があったとしても、それが何か知らなければ分からないままです。特に人名は注釈がないことが多いです。逆に言えば、その言葉の意味を知っていれば、その人物が何をしたのかを知っていれば、多少英語が分からなくても内容を大まかに理解できます。何がいつどこで役に立つかは分かりません。わざわざ時間をとって勉強する必要はありませんが、授業中に出てくることがあったら、「私には関係ない。」なんて思わずに耳を傾けてください。また、試験科目ではない科目の授業を受けなければならない人は内職したり、寝たりしないでちゃんと聞きましょう。

### どんな形式も対応できるように

問題傾向変化は怖いものですが、形式の変化もまれに起きます。マーク式だから、記述式だからと手を抜いていると突然変わったとき対応できません。マーク式か記述式かは予告している場合がありますが、英語や国語で物語文はでないから、単語の問題は出ないから、誤聞訂正や並び替えは出ないから、数学で証明は出ないからと全くやらないで入試に臨むのは危険です。それぞれに解き方がありますから最低限それは押さえておきましょう。授業では幅広くさまざまな形式をやるとしますので、限られた時間の中で多くの武器を手に入れてください。